

宝塚市立売布小学校 学校長 藤山 昌生

早いもので、今年度も折り返し地点の10月を迎えました。朝晩の涼しさや、さわやかな風を感じると、秋という季節を感じることができます。先日、子どもたちから、「『〇〇の秋』と言えば校長先生は何かいいですか?」と聞かれたので、すかさず「食欲の秋」でしようと思えました。「実りの秋」と言われるように、これから新米や芋や栗、果物などを食するのが楽しみな時期です。旬のものをいただくということは、その季節に必要な栄養がとれるとも言われています。免疫力を高め、抵抗力をつけ、学習にも「実り」がくるよう、取り組みを進めたいと思います。

“次の時代を担うのはあなたたち…” ~6年生平和学習から~



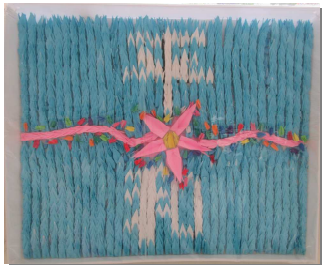
当時着ていた服を紹介する近藤さん

6年生は、10月2日~3日の1泊2日で広島に修学旅行に行きます。平和学習を進めていく中で、原爆被害者の近藤紘子(こんどうこうこ)さんにお話を聞く機会を持ちました。近藤さんは、生後8か月で爆心地から1.1kmで被爆しましたが、奇跡的に助かったそうです。被爆後、ずっと原子爆弾を落とした人に対して「仕返しをしたい」という気持ちで過ごされていたそうですが、アメリカのテレビ番組に招待され、そこでのB29爆撃機の副操縦士との出会い

から、次第に人に対するの憎しみから戦争そのものを憎むという気持ちに変わっていかれたようです。その後、アメリカの大学にも進学され、現在は日本各地の学校だけでなく、世界各国の子どもたちに、平和の大切さや戦争の悲惨さを語ってくださっています。

近藤さんはお話しされている間、ずっと子どもたちに優しく語りかけ、「次の時代を担うのはあなたたち…」と伝えてくださいました。その言葉の続きは、だから「自分はこうしたい」、だから「自分はこうありたい」等、自分自身が平和や戦争にどのように向き合うのかを投げかけていただいたのだと思います。それを見つけるためにも、広島でしっかりと学びたいと思います。

売布小学校全校生で折った千羽鶴や、平和への願いを込めたパネルは、2日の平和集会で原爆の子の像に捧げてきます。(原爆の子の像は1958年に建立されましたが、近藤さんも当時の式典の際には参加されたと教えてくださいました。)修学旅行で6年生が学んだことは、11月に学校での平和集会で報告する予定です。



※今月号から、学校だよりはスクリーン配信となりました。

